

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 135号

2015/4/27 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願ひ致します。

1、市況の動き:

① 最高 5月 LDN 市場£ 1,965 / 5月 NY 市場\$ 2,889 (4/22) 先週比 LDN **-2** / NY **+19**

② 最低 : 5月 LDN 市場£ 1,900 / 5月 NY 市場\$ 2,772 (4/24) 先週比 LDN **-38** / NY **-27**

週内価格差額 (①-②) : LDN 市場£ 65 (傾向↑) / NY 市場\$ 117 (傾向↑)

週内建玉推移 : LDN 市場 270,869 枚 (4/17 終了時) ⇒ 275,338 枚 (4/23 終了時) **+4,469 枚**

NY 市場 193,690 枚 (4/17 終了時) ⇒ 187,375 枚 (4/23 終了時) **-6,315 枚**

	2015/4/20(月)		2015/4/21(火)		2015/4/22(水)		2015/4/23(木)		2015/4/24(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-May	1905	2779	1902	2773	1900	2772	1916	2806	1965	2889
5-Jul	1929	2780	1926	2775	1924	2782	1936	2802	1979	2885
5-Sep	1927	2776	1925	2772	1922	2776	1931	2795	1968	2872

LDN 市場は先週末に続き、テクニカルな売りが入り月曜日は寄り付き後5分で15ポンド以上下げた。水曜日は寄り付き後の1時間で約1%も上昇したが最終的には-2ポンドとなった。NY市場も月曜日の寄り付き後から20ポンド下げ、投機筋の売りにより-60ポンドで引けた。両市場とも水曜日で4日連続の下落となった。木曜日のLDN市場は4日連続の下落後、およそ0.6%上昇しNY市場も5月きりの価格は約1.2%上昇し引けた。

2、ガーナ：カカオ豆生産高が大幅に低下＝Ecobank (4/17)

ガーナのカカオ豆監督機関である Cocabod は 2014/15 期の収穫高を 85 万トンとみており、2013/14 期の 90 万トンから減少するという見解を維持している。

しかしトーゴに本店を構える Ecobank は、昨シーズン比で 23%減少し 73 万にとどまるとの見方を示している。

ガーナのカカオ豆収穫量の下落により 2014/15 期のカカオ豆収穫高は、ここ数年で初めてのカカオ豆供給不足という事態に陥ると考えられている。

先月には国際カカオ機関もまた、ガーナのカカオ豆生産量が Cocobod の予測よりも下回ると発表していた。

Ecobank は、カカオの実にダメージを与えたり、樹木の寿命を縮めたりするブラックポッド病や菌の感染による収穫量減少という脅威を認識している。Ecobank の Edward George はまた、ガーナにおける生産高の低下は、Cocobod が農家に供給している肥料や農薬を削減したことに起因すると述べている。彼は「生産量の低下の理由は明らかだ。今シーズンは昨シーズンほど、肥料や農薬といった適切な処置がされていない。」と加えた。

Cocobod は、一部の農家がカカオ豆を海外に転売することを恐れて、農家に対するサポートを削減した。Edward George もまた「一部の悪い人々が、カカオ豆を海外に持っていったり、ニジェールに売っている。」と述べている。こうして肥料や農薬散布がなされないと、ますますカカオが病気の影響を受けやすくなってしまふ。

ガーナのカカオ豆収穫量が落ちている原因のもう一つは、ハルマッタンというサハラ砂漠から吹く乾いた風によるものが挙げられる。しかしながら、同じ気候帯に属するアイボリーでは過去最高の収穫量を記録している。

アイボリーでは農家への最低保証価格を統制することで、農家がより多くのカカオ豆を生産できるように設備投資などを行えるしくみが整っているためだ。

3、アイボリー：4月19日までにカカオ豆着荷量131万1000トンに達する(4/19)

アイボリーでは昨年10月1日以降、4月19日まででカカオ豆の着荷量が131万1000トンに達した。昨年同時期と比較すると128万7000トンから2万4000トンの上昇となった。

4月13日から19日までの1週間で、アビジャン港とサンペドロ港に着荷したカカオ豆は2万2000トンとなった。

4、ココアバターの融点を決定づける遺伝子が発見される(4/20)

ココアバターの融点を決めるものは一体何だろうか？それがたった一つの遺伝的特性であることがある研究所のメンバーによって発見された。

研究者たちによると、この発見により融点を調整したり、究極的には新しく改良されたココアバターを生み出すこともできるという。ココアバターは広く食品や薬品にも用いられている。

彼らの発見により、多様な気候条件や土壌でも生育するようなカカオを生みだせるかもしれない。また研究次第では、効率的に高い生産性を実現させ、農家の収入を増加させることも可能である。

米国のペンシルバニア州立大学の分子生物学の教授によると、スナッフ性や口どけはチョコレートの特徴を決定づける非常に重要な要素であり、融点の異なるココアバターは新しいチョコレートの特徴を生み出すかもしれない価値のある原料になりうるという。融点を変えたココアバターにより、新しい効果・特徴をもった新しいチョコレートが誕生するかもしれない。

研究者たちはすでにカカオについてのゲノム解析を行っていたが、ここ最近になりどの遺伝子がカカオの各グループ(SAD)遺伝子が注目されている。

SAD 遺伝子ファミリーの中でも特に SAD1 がココアバターの融点を左右している。

その他の SAD 遺伝子はカカオの樹木の生育や花や葉の形成といった役割を持つが、これらが合成する脂肪酸はカカオの生体膜系のカギとなる構成成分として重要な役割を担っている。この情報は、新しいカカオの品種のスクリーニングと品種のバイオマーカーの開発に役立つとされる。

5、ナイジェリア：2020年までにカカオ豆生産量が100万トンに到達か？(4/21)

ナイジェリア農業大臣によると、ナイジェリアは2020年までにカカオ豆生産量が100万に到達するという。また大臣は、その目標に到達するためにアフリカ開発銀行(AFDB)により、品質の安定化やカカオ豆の販売流通ルートに対する支援が必要であることを述べている。

アフリカ最大の産油国で経済成長が著しいナイジェリアは、世界の主なカカオ豆産地の一つであるが、最大の問題は1950年代に石油が発掘されて以来、他の産業を捨てて石油産業に注力してしまったことにある。

大臣は「ナイジェリアはもともと2018年までに100万トンのカカオ豆を生産することを目指していた。しかし今年に至っては30万トンしか収穫できず、この目標はなかなか厳しいものとなっている。」と述べている。

近年の石油価格下落により、ナイジェリアは国として産業や経済の多様化が急務となっており、政府は農家をカカオなどの農業分野に戻そうとしている。ナイジェリア政府の農業再生への取り組みはうまくいっており、ナイジェリアのカカオ豆生産量は著しく伸びるだろうと大臣は言う。

「ナイジェリアのカカオ産業は、長年見捨てられてきた為老朽化している。そこで我々は140万ものカカオの苗木、しかも高い生産性が期待できる品種を農家に与え作付している。」と加えた。

彼によるとナイジェリアの昨年のカカオ生産量は37万トンであったが、2016年には70万トンに達するという。「2020年までには100万トンまで収穫量を伸ばす。」と強い意志を述べた。

世界のカカオ豆の約78%がアフリカ産であるにも関わらず、ナイジェリアはわずか3%のシェアにとどまる。ナイジェリアはアイボリー、ガーナ、インドネシアに次ぐ世界4位のカカオ豆生産国である。

今必要なのは、カカオ産業に投資をするための借入れを増やすことにある。

■先物市場のテクニカル分析

毎週カカオの先物市場の価格をご案内しているものの、その価格の動き方は、近年カカオ豆の実際の需要と供給によって変化する以上に、その他の要因で変化することも多い。このような状況下、カカオの産地や消費地の情報だけではカカオの分析を行うのには不十分である。

多くの方にとって、先物市場の分析は専門外であり、また難しい分野であると思わる為、毎週少しずつ先物市場と価格のテクニカル分析について勉強をしていければと思います。

まずは、テクニカル分析の概念を知る所から始めたい。

・テクニカル分析の定義：主としてチャートにより、“市場の動き”を研究するもの

*市場の動きには、①価格、②取引高、③建玉が含まれる。

・テクニカル分析の目的：将来の価格の方向性を予測すること

・テクニカル分析の前提：A) 市場の動きは全てを織り込む

B) 価格の動きはトレンドを形成する

C) 歴史は繰り返す。

A) 市場の動きは全てを織り込む

商品先物お市場価格に影響を与えるものは、需給バランスなどのファンダメンタルズであれ、政治的なものであれ、心理的なものであれ、何でも商品の価格に反映されていると考えられている。したがって、テクニカル分析を行うに当たっては、価格の動きを研究することが全てということになる。

私達は、普段、需要が供給を上回れば価格は上昇し、供給が需要を上回れば価格は下落すると考えている。しかしこの考え方の方向性は経済、もしくは需給バランスなどのファンダメンタルズ予測の基礎であるが、テクニカル分析の考えた方の方向性は逆です。

テクニカル分析においては、価格の上昇＝供給を上回る需要と強気のファンダメンタルズを示し、価格の下落＝供給を下回る需要と弱気のファンダメンタルズを示す。

B) 価格の動きはトレンドを形成する

トレンドの概念はテクニカル分析において重要で欠くことが出来ないものである。先物価格の動きをチャートで追う目的はトレンドを早期の形成段階で確認し、そのトレンドの中で取引をする為にある。テクニカル分析で用いられる技法のほとんどは本質的にトレンド追随型であり、その意図はトレンドを確認して、追随することである。

価格がトレンドを形成するという前提では下記のことも同じく言えることが多い。

- ・運動中のトレンドは反転するよりも継続する可能性の方が高い
- ・言いかえれば、トレンドは反転するまで同じ方向に継続する。

よって、テクニカル分析のトレンド追随型の手法においては、反転の兆しがみられるまではトレンドに乗って動くことを想定して価格を予測する。

C) 歴史は繰り返す

テクニカル分析や市場の動きの研究は、相当部分が人間心理の研究と通じる。なぜならチャートのパターンは人間心理の研究に基づくものであり、人間心理は変わらないからである。“歴史は繰り返す”という表現を言いかえれば、将来を理解する鍵は過去を研究することになる。すなわち、将来は過去の繰り返しに過ぎないと

いうことである。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp